

資料2

平成28年度

第二種特定鳥獣管理事業実績報告書(市町村分)

ニホンザル	資料2-1	ニホンジカ	資料2-3
白石市	3	石巻市	49
角田市	4	女川町	50
七ヶ宿町	6	登米市	51
川崎町	8	気仙沼市	52
丸森町	9	南三陸町	53
仙台市	11		
山元町	14		
大崎市	15		
加美町	16		

イノシシ	資料2-2	ツキノワグマ	資料2-4
白石市	19	白石市	57
角田市	21	蔵王町	58
蔵王町	23	七ヶ宿町	59
七ヶ宿町	25	川崎町	60
大河原町	26	仙台市	61
村田町	28	大和町	63
柴田町	29	大衡村	64
川崎町	30	大崎市	65
丸森町	31	色麻町	66
仙台市	33	加美町	67
名取市	36	栗原市	68
岩沼市	37		
亘理町	38		
山元町	39		
大和町	41		
大衡村	42		
大崎市	43		
色麻町	44		
加美町	45		
栗原市	46		

平成29年8月

宮城県環境生活部自然保護課



平成28年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村分)

ニホンザル

白石市	1
角田市	2
七ヶ宿町	4
川崎町	6
丸森町	7
仙台市	9
山元町	12
大崎市	13
加美町	14

平成29年8月

宮城県環境生活部自然保護課

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

白石市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.95 ha</p> <p>(2)金額 2,158 千円 (H27)</p> <p>(3)作物 水稲</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.93 ha</p> <p>(2)金額 2,467 千円</p> <p>(3)作物 水稲、果樹、野菜等</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 被害面積は目標を達成したが、被害金額については増加した。果樹等単価の高い作物への被害金額が増加したことによる。また、農作物被害により、耕作を止めた農家も多い状況であるため、金額に反映されない被害も多い。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 銃器による群れの追い上げ及び捕獲の実施。</p> <p>○ 電気柵・防護柵の設置に対する補助の継続。</p> <p>○ 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 実施隊による追い上げ等を実施した。</p> <p>○ 電気柵・防護柵の設置に対する補助の継続した。</p> <p>○ 現地確認、広報配布時の回覧の際に廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を行った。</p>	<p>○ 電気柵の設置状況については、農家が季節によって設置場所を移動している場合等も多く、正確な状況の把握は出来ない。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 群れ2群の流動域や個体数の調査等を予定。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 15 頭</p> <p>発信機装着の増設数 5 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 捕獲した15頭の群れについては、群れの流動域が重複していることから所属群は不明である。平成27年度は現在、発信機を装着している3群の流動域や個体数のカウントなど群れの状況調査を実施した。</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業をする。</p> <p>○ 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を呼びかけた。</p>	
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

角田市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.00 ha</p> <p>(2)金額 0 千円</p> <p>(3)作物 水稲、りんご、かぼちゃ、野菜類等の農作物全般</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.00 ha</p> <p>(2)金額 0 千円</p> <p>(3)作物 ごく軽微なものを除き被害なし。</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 実施隊員による追い払い活動や定期的パトロール等により、被害を防止できた。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 角田市鳥獣被害対策実施隊員等による群れの追い払い及び捕獲を実施する。</p> <p>○ 引き続き、狩猟免許取得に対する補助を行う。</p> <p>○ 民家に近づけないような、環境整備に努める。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 出没情報に基づき、随時、角田市鳥獣被害対策実施隊員（以下「実施隊員」という。）による調査、追い払いを実施した。</p> <p>○ 実施隊員2名による被害防止パトロールを定期的に実施した。</p> <p>○ 狩猟免許取得に要する費用の一部補助を行った。</p>	<p>○ 設置農地の該当なし。ニホンザル専用の電気柵を設置している農業者はまだいない。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 15 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 農耕地等へよく出没する隈東地区の南部方面を中心に、重点的にパトロールや追い払いを行う。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着頭数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 市の南東部（枝野石川口地区周辺）に襲来する群れは、大内、又は大内の分裂の群れと推測される。</p> <p>○ 群れのほかに、ハナレザルと思われる2～3頭の一群が、市の東西にそれぞれ出没している。</p>	<p>○ 獲目標15頭であったが、捕獲はなかった。</p> <p>○ 今後とも、被害を水際で防止していく。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 山林に接する耕作地などでの定期的パトロール等を行い、被害の防止に努める。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 定期的なパトロールを行い、被害防止に努めた。</p>	<p>○ 引き続き、パトロール等で被害防止に努めていく。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>5 その他</p> <p>○ イノシシの管理対策事業と重複する事項については、可能な限り連携して実施する。</p>	<p>5 その他</p> <p>○ 被害防止対策の講習会においては、ニホンザル及びイノシシ、ハクビシン等を対象に実施した。</p>	<p>○ 講習会を開催することにより、注意喚起と被害防止方法等の啓発が図られた。</p>

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

H28計画	H28実績	評価
1 被害軽減目標 (1)面積 5.30 ha (2)金額 2,930 千円 (3)作物 そば、水稲被害の軽減 (4)その他	1 被害軽減目標 (1)面積 7.03 ha (2)金額 2,739 千円 (3)作物 大豆、野菜、果樹、水稲、そば (4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度に比べ大きく被害が出ており、特に水稲、そばの被害が甚大であった。被害対策として電気柵等の設置や定期的な追い払い活動を行ったが、出没件数が大きく増えたため被害を抑えられなかったと考えられる。
2 被害防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ 電気柵の設置の推奨 ○ 電気柵講習会の開催 ○ 追い上げ活動の実施 ○ 群れの個体数及び流動域の把握 	2 被害防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ 電気柵及びネット等による農作物被害の防除を実施。 ○ 電気柵注意喚起のチラシを全戸配布及び町内に設置されている電気柵全ての点検を実施。 ○ 銃器及び花火による追い払いの実施(5名体制で6月から11月末まで毎日巡回) ○ 群れの個体数及び流動域の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気柵設置は非常に効果があるものだったが、未設置のところでは被害を防ぐことができなかったと考える。 ○ 定期的な巡回活動により効果的な追い上げを実施できた。 ○ 流動域の把握により効果的に追い払いが実施できた。
3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 100 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 <ul style="list-style-type: none"> ○ テレメトリー調査の実施 ○ 生息調査の実施 ○ シャープシューティングの効果の検証 	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 108 頭 発信機装着頭数 10 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 <ul style="list-style-type: none"> ○ 有害捕獲として98頭捕獲。(個体数調整として捕獲はなし) ○ ニホンザルの個体数や流動域の調査を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個体数について把握しつつあるために、個体数調整としての捕獲は行わなかった。 ○ 前年度に引き続き、発信器取付率及び捕獲率等維持している。

H28計画	H28実績	評価
<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 放棄、取り残し農作物の除去の指導の徹底 ○ 寺院神社等のお供え物の持ち帰りの指導 ○ 耕作放棄地の軽減 	<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導は行ってきたが、未収穫野菜等の放置があった。 ○ 地区により状態は違うが、少しずつであるが周知による効果が出始めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導方法の改善及び周知の徹底を図る。
<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会により広域的な被害対策の実施 	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 効率的な追い払いや生息調査を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度同様に効率的な追い払い活動及び生息調査を行えた。

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

H28計画	H28実績	評価
1 被害軽減目標 (1)面積 0.48 ha (2)金額 238 千円 (3)作物 水稲、大豆、果樹 (4)その他	1 被害軽減目標 (1)面積 0.40 ha (2)金額 346 千円 (3)作物 かぼちゃ、大豆、トウモロコシ、 白菜、人参等 (4)その他	○ 人馴れが進んでいるよう で、人家の周りや道路沿 いでの目撃が例年より多 かった。また、観光地など の周辺では通行人が餌を やっている等の情報も入っ てきており、今後看板の設 置なども検討していく。
2 被害防止対策 ○ 地域における自主防除対策へ の支援・電気柵設置の推奨 ○ 銃器による群れの追い上げの 実施 ○ 電気柵・防護柵の設置に対す る補助の実施	2 被害防止対策 ○ 電気柵の補助 ○ 週一回の実施隊による町内パ トロールを行った。	○ サルの被害が多い地域で は電気柵のポールをサル 用に長くするなど指導して いく。また、サルの人馴れ を防ぐためにも看板の設 置や目撃した際には追払 いを迅速に行う為にも実 施隊との連携も密にしてい く。
3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 ○ 生息域調査の実施	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 ## 頭 発信機装着頭数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 ○ 生息域調査の実施	○ 今後も生息域調査の実施 を行っていき、分布の状況 を把握し効率的な駆除に 努める。
4 生息環境管理 ○ 耕作放棄地の除草	4 生息環境管理 ○ 耕作放棄地の除草は行えな かった。	○ 耕作放棄地の効果的な除 草には至らなかった。
5 その他	5 その他	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

丸森町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.50 ha</p> <p>(2)金額 250 千円</p> <p>(3)作物 米、大豆、えんどう、きゅうり、ネギ、大根、とうもろこし、柿、りんご等</p> <p>(4)その他 隠れ場を作らないことや、野菜・果物を放置しないことなどの環境整備の啓発。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.00 ha</p> <p>(2)金額 0 千円</p> <p>(3)作物 なし</p> <p>(4)その他 地区主催の研修会時における農地等の適正管理の呼びかけ</p>	<p>○ 被害状況の確認については、共済からのデータのみとしており、サルによる被害はなかった。</p> <p>○ 鳥獣被害対策実施隊による銃器による追払い及び捕獲を、2人体制で実施(年間延べ240日)したほか、週4日間のサル追いパトロール員による花火を使つての追払いなどの効果があった。</p> <p>○ 地区主催によるイノシシ被害防止対策研修会への参加、資料の提供により生息地の適正な管理の呼びかけを行った。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 鳥獣被害対策実施隊による銃器を利用した追払い及び捕獲の実施。(年間120日)</p> <p>○ 追払いパトロール員による花火を利用した追払いの実施(週4日)</p> <p>○ 住民による花火を利用した追払いの実施。(花火の無償配布(希望者))</p> <p>○ 隠れ場を作らないことや、野菜・果物を放置しないことなどの環境整備の啓発。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>○ 鳥獣被害対策実施隊員による銃での追払い及び捕獲の実施。</p> <p>○ 追払いパトロール員による花火を使った追払いの実施。</p> <p>○ 住民の希望者に対し、追払い用花火を無償で配布し自主的に追払いを実施。</p> <p>○ 地区主催の研修会時における農地等の適正管理の呼びかけ</p>	<p>○ 住民からの情報を迅速に実施隊員に伝え、支部の隊員が現場に駆けつけるなどの効果がある。</p> <p>○ 発信機装着の個体の行動域を把握し、効率的な追払いを行っている。また、住民の花火による追払いを自主的に行っていることも効果をあげている。</p> <p>○ 地区主催による鳥獣被害防止対策研修会への参加、資料の提供により生息地の適正な管理の呼びかけを行った。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>○ 大内の群れ、青葉の群れ、大内分裂の群れ、耕野の群れ、筆甫の群れなど、町内には推定320頭余りが生息しているものと見られ、発信機装着個体の動向を受信しながら追払いを行うのは効果を上げている。そのため、既に取付けてある発信機の電池の寿命を考慮し、年度計画により取り付けする群れの選定を行う。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 26 頭</p> <p>発信機装着頭数 1 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 1 頭</p> <p>○ 大内の群れが分裂し、新たな軍団が結成された。</p> <p>○ そのため、電池切れが予想された青葉の群れの発信器の更新と、新たな群れに発信器を取り付けて監視を強化した。</p> <p>○ 生息調査は、群れ又は地区ごとの調査が一巡したため、町内全体の調査を実施した。</p>	<p>○ 発信機装着個体は、青葉の群れの更新1頭、青葉の群れから分裂した群れ1頭に装着。</p> <p>○ 町内の加害レベルはE～Fである。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 耕作放棄地の除草や山林の適齢伐採等を周知する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>○ 地区主催の研修会時における農地等の適正管理の呼びかけ</p>	<p>○ 地区主催による鳥獣被害防止対策研修会への参加、資料の提供により生息地の適正な管理の呼びかけを行った。</p> <p>○ 高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増加に伴い、山と里の中間地などの荒廃によって、人間と野生鳥獣との本来の住み分けが失われている。農業後継者不足などのため、農地や山林の環境整備を自力で行うのは困難な集落もある。</p> <p>○ そのため、中山間地直接支払制度の活用による集落単位の対策を行っている。</p>
<p>5 その他</p> <p>○ 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の実施。</p>	<p>5 その他</p> <p>○ 丸森町鳥獣被害対策協議会総会の開催</p> <p>○ 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加</p>	<p>○ 丸森町鳥獣被害対策協議会総会の構成員である、各地区の区長会長、JA、共済組合、森林組合、県の職員などと、被害対策について連携を図った。</p> <p>○ 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会に参加し、県境を越えた被害対策などについて連携を図った。</p>

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市

H28計画		H28実績		評価
1 被害軽減目標 (1)面積 0.27 ha (2)金額 379 千円 (3)作物 玉ねぎ、長ねぎ、じゃがいも、大豆、柿 (4)その他		1 被害軽減目標 (1)面積 0.13 ha (2)金額 167.797 千円 (3)作物 水稲、長ねぎ、じゃがいも、とうもろこし、玉ねぎ、大根、白菜等 (4)その他		○ 面積、金額共に目標を達成した。
2 被害防止対策 (1) 地域における自主防除対策への支援 (2) 群れの動きや地域特性に応じた大規模追い上げ・捕獲の実施：原則年1回（初冬を予定） (3) 定期被害パトロール：週1回を基本に実施予定 (4) 群れの動きや地域特性に応じた小規模追い上げの実施：随時 (5) サル群の位置情報収集及びホームページ掲示板での情報提供と活用促進		2 被害防止対策 ○ 電気柵設置助成新規設置2,100m、受益面積102,000㎡（サル・クマ兼用） ○ 大規模追い上げ（合計4日間）初冬季：11/30、12/7、1/23、1/30 ○ 宮城地区、秋保地区それぞれ週1回、定期被害パトロールによる問題個体の捕獲と、群れの出没抑制 ○ 小規模追い上げ 2/9に1回実施 ○ 電波発信機による群れの位置情報の把握、市ホームページ、公共施設での啓発		※ 被害報告があった農地に対してどの程度電気柵を設置したのかというデータは持っていない。 ○ 各種対策の実施によって、遊動域の東進を抑制する一定の効果は得られている。 ○ 各種追い上げ及び捕獲対応により、被害防止に貢献できた。
3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 130 頭		3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 115 頭 奥新川A1群(WF)：5頭 奥新川A2群(WF)：13頭 定義の群れ(B)：8頭 不明（付近でテレメの電波受信なく、捕獲地からも特定不能）：1頭 秋保大滝A群(WF)：6頭 秋保大滝B群(WF)：5頭 二口A群(D~E)：2頭 高倉山A群(E~F)：17頭 高倉山B群(未調査)：14頭 高倉山C群(不明)：6頭 本砂金の群れ(D~E)：38頭		○ 捕獲許可頭数130頭に対し、115頭の捕獲。 昨年度実績(84頭)を上回っている。
有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭		有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭		

H28計画		H28実績		評価
発信機装着の増設数	11※1 頭	発信機装着頭数(増設及び交換)	11 頭	○ 市内に遊動域を持つ群れ(不明群含む)15群のうち12群16頭、及び群れ不明のもの3頭の合計19頭のサルへ発信機を装着して運用中。
発信機装着の更新基数	11※1 頭	発信機装着の更新基数	11頭のうち2 頭	
		奥新川B1群(C):1頭 定義の群れ(B):2頭 青下の群れ(調査中):1頭 関山の群れ(C):1頭 秋保大滝B(WF):2頭 二口A群(D~E):1頭 本砂金の群れ(D~E):1頭 三森山の群れ(未調査):1頭 不明な群れ(付近でテレメの電波受信なく、捕獲地からも特定不能):1頭		
(1) 評価の最も低いWFレベル4群とFレベル3群の多頭捕獲(通年で箱わなによる)		○ 全捕獲数115頭のうち、多頭捕獲は84頭		○ 大型捕獲施設により、群れの全頭捕獲は出来なかったものの、特定の群れの効率的な捕獲に成果が見られた。
(2) 対象群の全頭捕獲を目標とする大型捕獲施設の試験的導入		○ 全捕獲数115頭のうち、大型捕獲施設による捕獲は22頭		
(3) 電波発信機の増設及び更新:合わせて11基程度 ※1		○ 詳細は上記のとおり		
(4) モニタリング調査(被害, 生息環境等)の実施及び結果のフィードバック		○ 遊動域調査の結果等を、被害防止のための市民啓発へ利用した		
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
(1) 誘引要因除去の指導・啓発(廃棄野菜・未収穫果樹の適正管理, ゴミ管理の徹底, 転作田の大豆収穫後の適正管理)		○ 必要に応じて, 誘引要因除去の指導・啓発を行った		
(2) 出没頻度の高い河川並びに山麓周辺の中から環境管理モデル地域を選定して環境管理モデル事業の実施及び推進(市民参加型による柿もぎボランティア事業などの実施)		○ みやぎ地区にて, 果樹へのトタン巻きを実施した(サル・クマ対策共通)		
(3) 餌付け自粛看板の設置(既設地域は増設及び更新)及びチラシの観光関係施設への配置		○ 特に餌付け実施が疑われる地域は無く, 昨年度に引き続き, 観光地等へ注意喚起チラシ配架		
(4) 被害を受けにくい農作物の作付け誘導や栽培管理の指導		○ 苦情, 相談が寄せられた際, または地域のイベント会場などで, サルの生息状況や自主防除の必要性及び具体的な対策について説明し, 周知活動を行った。		
(5) 農地周辺や里山の管理に係る助言・啓発				
(6) 生息状況や自主防除の必要性等, 具体的な対策についての周知及び説明				

H28計画	H28実績	評価
<p>5 その他</p> <p>(1) 第三期宮城県ニホンザル管理計画(平成25～28年度)に基づき、これまでの対策の検証を総合的に進めるとともに、住民の方々の協力や捕獲隊員及び関係機関・団体との連携を深めながら、より実効性のある対策を目指す。</p> <p>(2) ツキノワグマ及びイノシシ管理事業実施計画と類似する事業については、可能な限り連携に努め効果的に対応する。</p>	<p>5 その他</p> <p>サルの生息状況や自主防除の必要性及び具体的な対策についての説明や周知活動については、捕獲隊員及び関係機関・団体と連携し、クマ及びイノシシに関することと合わせて実施した。</p>	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

山元町

H28計画	H28実績	評価
1 被害軽減目標 (1)面積 0.05 ha (2)金額 134 千円 (3)作物 リンゴ (4)その他	1 被害軽減目標 (1)面積 0.61 ha (2)金額 127 千円 (3)作物 きゅうり、とうもろこし、かぼちゃ、 枝豆、トマト、ぶどう、スイカ (4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農作物被害が5～8月に集中していたため、追い払い及び捕獲活動を8月～12月に行った。それ以降は被害の報告は減少した。結果、被害面積は増加したものの、被害金額は目標を達成するものとなった。 ○ 28年度は山元町北部を中心に農作物に被害が出た。
2 被害防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ サルに対し餌付けしないようチラシ等にて周知する。 ○ 生ゴミや実収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知する。 ○ 追い払い用火火にて追い払いの実施。 	2 被害防止対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ サルに対して餌付けしないようチラシ等で周知を行った。 ○ 未収穫農作物や摘果作業後の作物について適正な処理の徹底を図る。 ○ 追い払い用火火にて出没時に対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ サルの目撃情報の行政回覧や、定期的な巡回を行ったところ、住民に対してよりサルの被害があることの認識は深まったと考えられる。
3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに捕獲した実績はないが、被害が拡大するようなことがあれば個体数調整のため捕獲が必要になる。 	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭 発信機装着頭数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 <ul style="list-style-type: none"> ○ 8月から12月にかけて個体数調整として捕獲を試みたが、捕獲に至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被害地域の範囲は拡大しているため、来年度もさらに拡大するようであれば調査を行い、被害軽減及び個体数調整のため捕獲に努める。
4 生息環境管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ リンゴ等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。 	4 生息環境管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ 5～8月に山元町北部で農作物の被害が集中し、被害拡大が懸念されたため、8～12月にかけて捕獲、追い払い活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 結果的に被害金額は減額しているが、被害面積は拡大しているため、今後は被害面積を抑えるよう努める必要がある。 ○ 放置した農作物が、誘因の原因(餌付け)になっていることをより農家に周知する必要がある。
5 その他	5 その他	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

大崎市

H28計画	H28実績	評価
1 被害軽減目標 (1)面積 0.01 ha (2)金額 3 千円 (3)作物 野菜(大根, ねぎ, かぼちゃ等) (4)その他	1 被害軽減目標 (1)面積 0.00 ha (2)金額 0 千円 (3)作物 (4)その他	○ 被害なし
2 被害防止対策 ○ 目撃情報による見回り	2 被害防止対策	
3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 3 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭 発信機装着頭数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭	
4 生息環境管理 ○ 被害状況より現地確認	4 生息環境管理	
5 その他	5 その他	

平成28年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

加美町

H28計画	H28実績	評価
1 被害軽減目標 (1)面積 5.20 ha (2)金額 212 千円 (3)作物 山際集落の露地野菜等への被害軽減を目標とする。 (4)その他 箱わなによる捕獲を実施し、被害軽減を図る。	1 被害軽減目標 (1)面積 1.32 ha (2)金額 391 千円 (3)作物 水稻, 果実, 野菜, いも類 (4)その他 人家敷地内での被害が増加している。	○ 被害面積は減少したが、被害額が増加した。原因は人家敷地内での自家消費野菜の被害が増えたためと推測する。 ○ 出没地域、新たな群れの拡大が危惧されるため、引き続き目標とする個体数の捕獲に取り組み拡大を抑制することが必要と考える。
2 被害防止対策 ○ 電気柵による畑への侵入防除 ○ 被害防除機材の導入助成 ○ 音花火による追払い ○ 箱わな・銃器による捕獲、威嚇	2 被害防止対策 ○ 被害防除機材(電気柵等12件)の導入助成を行った。 ○ 小野田・宮崎地区の行政区に音花火を配布し追払いを実施した。 ○ 猟友会による捕獲用わなの設置を行った。	○ 電気柵の設置により被害抑制効果が見られたため今後も導入助成を継続する。
3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 30 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 ○ 箱わなによる捕獲頭数の向上	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 18 頭 発信機装着頭数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 ○ 捕獲頭数が18頭に減少した。	○ 箱わなによる捕獲により効果が見られた。
4 生息環境管理 ○ 町ホームページ等での捕獲事業の周知	4 生息環境管理 ○ 被害防除機材の導入を推進し被害の抑制に努めた。	○ 町民に事業内容の周知徹底を継続する。
5 その他 ○ 広報誌等での鳥獣被害防止協議会活動の周知	5 その他 ○ 広報誌に助成事業等について掲載し協議会事業の周知を図った。	○ 電気柵設置、音花火による追払いが被害の抑制に有効なため今後も継続する。

平成28年度

イノシシ管理事業実績報告書(市町村分)

イノシシ

白石市	1
角田市	3
蔵王町	5
七ヶ宿町	7
大河原町	8
村田町	10
柴田町	11
川崎町	12
丸森町	13
仙台市	15
名取市	18
岩沼市	19
亘理町	20
山元町	21
大和町	23
大衡村	24
大崎市	25
色麻町	26
加美町	27
栗原市	28

平成29年8月

宮城県環境生活部自然保護課

白石市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 20.86 ha (H27) 23.18 ha</p> <p>(2)金額 19,103 千円 (H27) 21,225 千円</p> <p>(3)作物 水稲、飼料作物、いも類、野菜等</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 31.48 ha</p> <p>(2)金額 26,369 千円</p> <p>(3)作物 水稲、飼料作物、いも類、野菜等</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 昨年度は、被害域がさらに拡大し、団地等にも出没しはじめ、被害面積、被害金額ともに増加した。農作物被害の拡大から耕作を止める農家も多く、金額に現れない被害も多く存在している。被害地区では被害対策が浸透し、電気柵等の設置が増えているが、イノシシが対策が進んでいない地区に侵入し、被害が増えているものと思われる。被害のない地区について、被害対策の知識の浸透させることが必要であるため、今後も周知や研修会の開催等により被害対策を推進する。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 900 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 設置者個人負担(市補助1/3最高100,000円)により、電気柵(ネット柵)を50件・45,000・2,000a設置する。</p> <p>○ 廃棄野菜、生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 回覧等で生息域の適正管理について呼びかけていく。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 1,595 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 市補助1/3最高100,000円)により、電気柵(ネット柵)を60件・18,870・2,439a設置した。</p> <p>○ 現地確認や広報配布時に回覧を行い、廃棄野菜、生ゴミを適正処理するように農家への指導を実施した。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 回覧や現地指導により除草について実施を促した。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 40,000 千円</p> <p>○ 被害の防除方法は主に電気柵で対応しており、昨年と比べると申請件数は減少したが、農作物被害は減少した。理由として①近年の捕獲の強化②電気柵の普及等が考えられるため、今後の対応としても電気柵の補助継続、箱わな等の設置数の増及び3戸以上の農地集積地で国庫補助を取り入れた電気柵又は防護柵設置の普及に努めたい。</p> <p>ただし、農作物被害が原因で耕作を止める農家も多いことも現状にあげられる。</p> <p>○ 電気柵の設置状況については、農家が季節によって設置場所を移動している場合等も多く、正確な状況の把握は出来ない。しかし、電気柵を設置した箇所については被害はほとんど無い状況である。</p>

20

H28計画	H28実績	評価
(4)その他	(4)その他	
3 その他	3 その他	

角田市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 7.00 ha (H27) 7.90 ha</p> <p>(2)金額 8,800 千円 (H27) 9,773 千円</p> <p>(3)作物 水稲、馬鈴薯等芋類、スイカ等野菜類</p> <p>(4)その他 水田畦畔破壊、農道法面破壊も数件報告されている。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 8.15 ha</p> <p>(2)金額 8,475 千円</p> <p>(3)作物 水稲、馬鈴薯、かぼちゃ、長芋、大豆、その他野菜類</p> <p>(4)その他 一部、水田畦畔損壊、農道法面損壊の報告あり。</p>	<p>○ 昨年度は、被害面積7.90ha、被害金額は9,773千円であったが、個人農業者のほか集落ぐるみの電気柵設置及び駆除隊員に捕獲わなを貸与すること等により、昨年度の被害状況に対しては、被害面積は微増であるが、被害金額は減少した。また、捕獲頭数(1,277頭)も増加した。 全体として被害抑止が図られた。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 1,000 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 農作物被害の大きい地域において、また、狩猟免許保持者等に対して、鳥獣被害防止講習会等を実施する。</p> <p>○ 引き続き、角田市有害鳥獣駆除隊員に、捕獲わなの無償貸与を行う予定である。また、農業従事者等に向け、狩猟免許取得に関する情報を提供しながら、角田市の補助制度を活用した免許取得について周知を行い、当該所有者の増加を図る。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 1,227 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 中山間地域4地区及び集落ぐるみでの電気柵設置4地区の計8地区において、専門家を講師に、イノシシの習性等及び被害防止対策に係る勉強会を実施した。</p> <p>○ 角田市有害鳥獣駆除隊員(以下「駆除隊員」という。)を対象に、イノシシ捕獲に関する技術向上のための現地研修会を実施した。</p> <p>○ 全戸配布により、イノシシ被害防止対策及び角田市の被害防止に関する補助制度の周知を図った。</p> <p>○ 狩猟免許取得者の増加(市補助金交付3件)が図られた。</p> <p>○ 駆除隊員に対し、捕獲わなの無償貸与を行った。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 19,692 千円</p> <p>○ イノシシの習性等を踏まえた被害防止対策等の広報、周知や被害防止のための電気柵等の設置を推進し、また、併せて通年捕獲を実施したことは、被害抑止に効果があった。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>○ 電気柵の増設を図るため、引き続き購入費用に対する補助を行う。</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>○ 市内各地区での講習会等の実施により、耕作放棄地の解消やイノシシを寄せ付けないような、出没しにくい環境対策の啓発に努める。</p> <p>(4) その他</p>	<p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>○ 勉強会等の実施により、環境整備の重要性について周知、啓発を行った。</p> <p>(4) その他</p>	<p>○ 電気柵の設置については、これまで、集落ぐるみでの設置が5地区63.5km、市が支援した個人等による電気柵等の設置が105km以上、このほかに個人での設置がある。こうした電気柵等の設置により、設置した耕作地のほとんどがイノシシ被害を防止しており、電気柵等の設置エリアについては、大いに効果が表れている。</p>
3 その他	3 その他	

蔵王町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 6.64 ha (H27) 7.62 ha</p> <p>(2)金額 5,247 千円 (H27) 9,876 千円</p> <p>(3)作物 水稲、いも類、野菜類、豆類</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.96 ha</p> <p>(2)金額 3,472 千円</p> <p>(3)作物 水稲、豆類、果樹、飼料作物、野菜類、いも類</p> <p>(4)その他 花き(苗物)被害面積 0.0025ha 被害金額 50千円</p>	<p>○ 山の実りが悪く被害の増加が懸念されたが、有害捕獲や防除対策の強化により被害面積及び被害金額ともに目標値を下回ることができた。</p> <p>食害による被害を比較すると、前年度の被害面積は7.52ha、被害金額は6,760千円であり、今年度の被害面積は3.96ha、被害金額は3,422千円となり、被害面積及び被害金額はともに前年度の約2分の1であった。</p> <p>前年度より新たに発生した花きへの被害が今年度も引き続き発生しているため、食害以外の被害防除対策をより一層強化したい。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 250→400 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。前年度より補助率を上昇している。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 356 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵設置に対する補助金件数 25件 補助金額 1,279千円</p>	<p>※年間被害対策経費合計 7,103.8 千円</p> <p>○ 蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 5,803千円</p> <p>○ 野生鳥獣被害防止施設(電気柵等) 置事業補助金 1,279千円</p> <p>○ 鳥獣被害対策担い手育成事業補助金 21.8千円</p> <p>○ 電気柵の設置状況について、農作物被害の報告があった農地の10%~20%程度が設置できているものと推察しているが完全に把握できていない。被害金額が設置費用を上回る農地や設置に掛かる経費以上の収入が期待できる農地での普及率は高く、効果はあるとの報告を受けているが、それら以外の農地では被害防除用ネット等の設置程度に留まる傾向がある。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>○ 生ゴミや農作物残さを適正処理するよう農家へ指導。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息域の適正管理に努める。</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 周知チラシの配布</p> <p>○ 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 目撃や被害報告があった農家へ、耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 町対策協議会に対する補助</p> <p>○ 鳥獣被害防止総合支援事業交付金の活用(捕獲用わな購入)</p>	
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

七ヶ宿町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.70 ha (H27) 0.98 ha</p> <p>(2)金額 1,390 千円 (H27) 1,311 千円</p> <p>(3)作物 水稲・野菜被害の軽減</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.00 ha</p> <p>(2)金額 2,826 千円</p> <p>(3)作物 水稲、そば、なたね</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 水稲被害が増加したため、全体的に前年度よりも被害増となった。しかし、野菜と牧草に関しては被害が減少している。</p> <p>町としては、金網柵及び電気柵の設置推奨を行ってきたが、「イノシシ」の増加に伴い、柵の無いところが被害にあったと考えられる。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 50 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵設置の推奨 ○ 電気柵講習会の開催</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 放棄、取り残し農作物の除去の指導 ○ 農地周辺の除草作業の実施の実施 ○ 耕作放棄地の軽減 ○ 山林に接する耕作地での山林側の除草作業の実施 ○ 耕作放棄地の軽減</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 65 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵に併せ金網柵設置の推奨をしたが、被害軽減には至らなかった。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 指導は行ってきたが、未収穫野菜等の放置が見受けられた。 ○ 周知による効果が出始めてきた。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 14,565 千円</p> <p>○ 捕獲目標は達成したが、前年度以上にイノシシの出没件数が増加した。</p> <p>○ 電気柵等の設置推奨を、継続的に行う。</p> <p>○ 農作物の除去及び農作放棄地の指導改善、周知の徹底を図る。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

大河原町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.90 ha (H27) 3.20 ha</p> <p>(2)金額 2,495 千円 (H27) 2,671 千円</p> <p>(3)作物 水稲、野菜(いも類)、たけのこ</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.20 ha</p> <p>(2)金額 2,465 千円</p> <p>(3)作物 水稲、野菜(いも類)、たけのこ</p> <p>(4)その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 捕獲体制を整備しているものの、個体数の減少までは到達していない。 ○ 被害届を提出せず自主防除に取り組む農家も多いとみられる。 ○ 電気柵等の導入を呼び掛けているが、農地所在の特性上(農地が点在し集団的な農地が少ない)共同による導入が進まない。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲目標</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 60 頭</p> <p>(個体数調整) 0 頭</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲実績</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 80 頭</p> <p>(個体数調整) 0 頭</p>	<p>※年間被害対策経費合計 3,829 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 80頭の計画に対し80頭の実績となった。捕獲した個体数以上の生息数が増加していると考えられ、今後の対策が求められている。 ○ 一方、新規狩猟者の減少や高齢化により捕獲数の減少も懸念されており、農家による草刈の徹底や周辺林地の適正な管理、網や電気柵の設置など、引き続き自主防除を呼び掛ける必要がある。 ○ 自主防除により一定程度効果のあった一方で、自主防除をおこなわず被害が発生している農家もあり、今後の指導の徹底が求められている。 ○ 狩猟者の高齢化により捕獲した個体の処分も負担となっている。 ○ 平成27年度の電気柵に関するアンケートの結果、回収数158世帯(全農家数→382世帯、回収率41.4%)のうち電気柵設置農家数は16世帯(10.1%)となった。平成28年度はアンケートを実施していないので、農地面積の何%は調査していない。

H28計画	H28実績	評価
<p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電気柵実証試験事業(町単独事業)として電気柵の貸出をおこない27年度に引き続き忌避効果の実証をおこなう ○ 講習会を開催し被害防止情報の共有を図る。 ○ 廃棄野菜、生ごみの適正処理について農家への指導を徹底する。 ○ 青色LEDライトを20基貸し出す。 ○ 危険防止広報をおこなう。 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の安全確保のため耕作放棄地の適正管理の指導をおこなう。 <p>(4)その他</p>	<p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電気柵実証試験事業(町単独事業)として電気柵の貸出をおこない忌避効果の実証をおこなった。 ○ 講習会を開催し被害防止情報の共有を図った。 ○ 廃棄野菜、生ごみの適正処理について農家への指導を徹底した。 ○ 青色LEDライトを20基貸し出した。 ○ 危険防止看板(イノシシ注意)を設置した。 <p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の安全確保のため耕作放棄地の適正管理の指導をおこなった。 <p>(4)その他</p>	
<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町独自に放射性物質の測定する。 ○ 捕獲個体の処分方法を検討する。 	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町独自に放射性測定を実施した。 ○ 捕獲個体の処分方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ C134:最高13Bq。最低不検出。平均で約6Bq程度。 ○ C137:最高65Bq。最低不検出。平均で約27Bq程度。 ○ 処分方法を検討するも適切な方法見いだせず。

村田町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.43 ha (H27) 3.51 ha</p> <p>(2)金額 1,008 千円 (H27) 910 千円</p> <p>(3)作物 水稲、果樹、飼料作物、野菜等</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 6.14 ha</p> <p>(2)金額 2,158 千円</p> <p>(3)作物 稲、豆、雑穀、果樹、いも類、野菜</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 被害面積、被害金額ともに目標を達成できなかった。その理由としてはイノシシの個体数増加が原因と考えられる。 また、昨年度の被害状況と比較しても、増加しておりその原因は上記と同じくイノシシの個体数増加と考えられる。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 150 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵(ネット柵)の設置助成を実施。 ○ 狩猟免許取得手数料(新規・更新)の助成を実施。 ○ 被害防止や事故防止に関する啓発活動の実施。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 廃棄野菜・生ゴミの適正処理について指導する。 ○ 休耕地・耕作地周辺の除草作業の実施を呼びかけ、生息域の適正管理に努める。</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 195 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵(ネット柵)の設置助成を実施。実績:71件、3,644千円。 ○ 狩猟免許取得手数料の助成(新規・更新)を実施。実績:新規5件、25千円 ○ 箱わな、くくりわなの補修部品を購入し実施隊へ支給。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 休耕地の除草実施の呼びかけ、水田刈り取り時期の早期水抜きや、廃棄野菜・生ゴミの適正処理を呼びかけた。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 8,702 千円</p> <p>○ 電気柵の設置状況については約66%が設置している状況であり、一応の効果があると思われる。</p>
3 その他	3 その他	

柴田町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.50 ha (H27) 1.80 ha</p> <p>(2)金額 500 千円 (H27) 910 千円</p> <p>(3)作物 ばれいしょ、たけのこ、水稻、大豆、そば</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.67 ha</p> <p>(2)金額 1,311 千円</p> <p>(3)作物 ばれいしょ、たけのこ、水稻、かぼちゃ、そば、さつまいも</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 電気柵の設置は増加しているが、イノシシの頭数は確実に増えてきている。今後集落ぐるみで電気柵が増えれば柵外でわなを設置して捕獲頭数の増加につながる。タケノコの被害も拡大し、被害金額の増加につながっている。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 100 頭 (個体数調整) 100 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 農作物被害の大きい地域において、鳥獣被害防止講習会を実施する。 ○ 主に農業従事者へ向け、免許取得に関する講習会を実施し、免許所有者の増加を図る。 ○ 電気柵の増設を図るため、購入費用の補助を行う。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 住民の安全確保のため農道及び林道の草刈りを実施し生息域の適正管理に努める。</p> <p>(4)その他 ○ 広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行う。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 91 頭 (個体数調整) 91 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 農作物被害の大きい地域において、鳥獣被害防止講習会を実施した。 ○ 主に農業従事者へ向け、免許取得に関する講習会を実施し、免許所有者の増加を図った。 ○ 電気柵の増設を図るため、購入費用の補助を行った。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 住民の安全確保のため農道及び林道の草刈りを実施し生息域の適正管理に努める。</p> <p>(4)その他 ○ 広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行う。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 7,183 千円</p> <p>(内訳) 町単独分 4,888 千円 集落ぐるみ交付金 2,295 千円</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

川崎町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 4.92 ha (H27) 7.03 ha</p> <p>(2)金額 489 千円 (H27) 699 千円</p> <p>(3)作物 水稲・かぼちゃ・飼料作物・芋類</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.33 ha</p> <p>(2)金額 276 千円</p> <p>(3)作物 水稲・そば・飼料作物・芋類等</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 川崎町内全域を対象として有害鳥獣捕獲を実施、併せて町単独事業の電気柵導入補助事業を実施した。</p> <p>年々被害が増え、耕作意欲の低下がおき遊休農地になっている田畑等が拡大しているのが見受けられる。そのため被害の報告がなされない農地が多数ある。今後このような農地が増えることでイノシシの増加が懸念されるので、効率的な捕獲方法の普及や防除方法等の普及を図っていく。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 250 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 年間250頭を捕獲目標として川崎町有害鳥獣捕獲隊による捕獲を実施。</p> <p>○ 電気柵設置の補助を実施。(単独世帯導入に対し、設置費用の6割を補助。3世帯以上の大規模導入に対して設置費用を8割に嵩増し補助)</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 看板を設置し、有害捕獲の周知活動及び、周辺住民への理解促進を行う。</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行う。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 166 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 電気柵設置助成は個人34件、広域2件の利用があった。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 看板などは設置できなかったが、被害現場確認の際には効果的な防護柵の設置方法や、対策の指導を行った。</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 正しい防護柵の設置方法等の紹介を町広報にて周知した。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 8,033 千円</p> <p>○ H28農作物防除協議会委託費 2,739千円</p> <p>○ 緊急捕獲イノシシ分 1,330千円</p> <p>○ 電気柵補助金 3,964千円</p> <p>○ 電気柵の補助等行ってきたが、間違った設置などしている方が多く見られた。今後更なる電気柵の普及を推進すると共に、適切な使用方法の指導も徹底していく。</p>
<p>3 その他</p> <p>○ 放射性物質の調査捕獲した個体を可能な限り町役場に設置している測定器を使用して計測する。</p>	<p>3 その他</p> <p>○ 放射能測定を行った。基準値以上の放射能は検出されなかった。</p>	<p>○ 今後も実施していく。</p>

丸森町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 20.00 ha (H27) 6.35 ha</p> <p>(2)金額 4,000 千円 (H27) 1,129 千円</p> <p>(3)作物 水稲、豆類、たけのこ、ジャガイモ、たまねぎ、大根、デントコーン等</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 田、畑だけではなく、宅地の庭を掘り返すなどの被害報告がある。夜間の被害が多い。</p> <p>○ 阿武隈急行線北丸森駅周辺の住宅街で、夜間、イノシシが道路をうろついているとの報告があった。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 16.12 ha</p> <p>(2)金額 4,323 千円</p> <p>(3)作物 水稲、豆類</p> <p>(4)その他</p> <p>○ 住宅の庭、道路脇、畦畔など、農地に以外の掘起しも目立つ</p> <p>○ また、道路の横断・飛び出しによる車と衝突などの被害が起きている。</p>	<p>○ 面積、金額とも平成27年度の実績を上回る結果となった。これは、平成27年9月に発生した台風被害によるものが大きかったため、鳥獣被害の申告が少なかったものと考えられる。</p> <p>○ 平成28年度のイノシシの捕獲数は、これまでの最多となる1,649頭であり、農作物被害を減少させるため、有害鳥獣駆除隊の活動の成果が現れている。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲目標</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 2,000 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 狩猟免許及び銃砲所持許可取得者支援の補助金を交付。</p> <p>○ 電気柵等の防除対策に対する補助金の交付。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲実績</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 1,649 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 狩猟免許取得者への補助 5件</p> <p>○ 銃砲所持許可取得者への補助 1件</p> <p>○ 電気柵等設置者への補助 118件</p>	<p>※年間被害対策経費合計 22,657 千円</p> <p>○ 有害鳥獣駆除隊員個人所有の銃器及びイノシシ用箱わな、くりわなを使用(1,649頭のうちわなによる捕獲1,369頭、銃による捕獲280頭)</p> <p>○ 巻狩りでは、猟犬を使用</p> <p>○ 狩猟免許取得者は前年の3件から2件増加した。</p> <p>○ 広報による狩猟免許試験日程のと町の補助制度のお知らせの効果があった。</p> <p>○ 今年度の捕獲頭数に見られるように、イノシシの出現が多かったためか、電気柵等を設置し防除する農家が昨年と比較して多かった。</p> <p>○ 被害報告のうち何%が電気柵を設置したかは把握していない。</p>

H28計画	H28実績	評価
<p>○ 関係機関と連携し、被害防止に関する研修会を実施。</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>○ 雑草、雑木の繁茂する荒地等の解消、野菜・果物の取り残し、放置をしないこと等の呼びかけを行う。</p> <p>(4) その他</p>	<p>○ 丸森町鳥獣被害対策協議会総会の開催。</p> <p>(3) 生息地の適正管理</p> <p>○ 地区主催の研修会時における農地等の適正管理の呼びかけ</p> <p>(4) その他</p>	<p>○ 県、町、森林組合、農協、行政区長などで構成する鳥獣被害対策協議会総会において、総合的な被害防止体系を確立した。</p> <p>○ 地区主催による鳥獣被害防止対策研修会への参加、資料の提供により生息地の適正な管理の呼びかけを行った。</p>
3 その他	3 その他	

仙台市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 4.62 ha (H27) 3.87 ha</p> <p>(2)金額 5,190 千円 (H27) 4,432 千円</p> <p>(3)作物 水稻、大豆、パレイショ、タマネギ等</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 8.41 ha</p> <p>(2)金額 8,269 千円</p> <p>(3)作物 水稻、じゃがいも、とうもろこし、たけのこ、そば、長ねぎ、山芋、白菜等</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 被害面積・金額ともに昨年度よりも約2倍に増加し、鳥獣被害防止計画(平成27年度策定)にて設定した目標を達成することはできなかった。</p> <p>○ 要因としては大規模防護柵(ワイヤーメッシュ柵)を設置し数年が経過したことにより、防護柵に慣れたイノシシがふさぐことのできない道路や水路、降雨による土砂流失などによって発生した柵の設置不備箇所等からの侵入の増加が原因と考えられる。また、生息頭数の増加も原因の1つと考えられる。今後は、柵の維持管理の徹底や捕獲も含めたより一層の対策が必要である。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲目標</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 500 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>○ 地域ぐるみの捕獲対策を活用し、見回りなどの負担を軽減したうえで、箱わなを配備し、捕獲を進める。</p> <p>○ 箱わなを主体に捕獲を通年で実施するとともに、くくりわなの導入を推進する。</p> <p>○ 箱わなを購入する団体に対し補助を行い、集落ぐるみの取り組みを促進する。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲実績</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 417 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>○ 平成28年度は地域ぐるみの捕獲対策実施地区が13地区増え、計19地区となった。また、地域ぐるみの捕獲対策実施地区において新たに箱わなを44基設置し、計68基となった。</p> <p>○ 平成28年度は箱わなを58基購入し、計201基で有害捕獲(通年)を実施した。また、くくりわなも12基購入し、計109基で有害捕獲を段階的に実施した。なお、平成28年度におけるくくりわなによる捕獲頭数は16頭であった。</p> <p>○ 平成28年度の実績はなし。</p>	<p>※年間被害対策経費合計</p> <p>49,771 千円</p> <p>○ 捕獲数については、目標値に達していないが、有害鳥獣捕獲頭数としては過去最高となった。</p> <p>○ 猟友会の高齢化により、捕獲従事者が減少する中で、今後、地域ぐるみの被害防止対策がさらに重要になってくることから、実施地区をさらに増やすためにも、地域農業者等を対象に研修会を実施し、先行事例等を情報提供していくことが必要である。</p> <p>○ 箱わなに入らない個体については、くくりわなによる捕獲が有効と評価しており、今後も錯誤捕獲や安全対策に配慮し、実施していく。</p> <p>○ 被害防止・捕獲従事者確保のためにも、補助制度の広報を積極的に行っていく必要がある。</p>

H28計画	H28実績	評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置における作業効率や錯誤捕獲防止に配慮し、くくりわなの使用を促進する。 ○ 有害捕獲によるイノシシ捕獲者に対し、報奨金を支払う。 ○ 狩猟免許(銃・わな)取得のための講習会及び銃猟免許を取得した初心者講習会受講者に対し、経費助成を行い、狩猟者の確保に努める。 ○ 狩猟免許を有しない地域の農業者等について箱わなの見廻りや餌の給餌等の業務に従事する地域ぐるみの捕獲対策を推進し、地域の自主防除意識の高揚を図る。 ○ 捕獲活動に係るガソリン代等の資金面の負担を軽減するために、国の鳥獣被害防止総合支援事業を活用し、捕獲経費の補助を行う。 ○ 鳥獣被害対策実施隊の必要性、在り方、活動内容等について検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成28年度はくくりわなを12基購入し、計109基で有害捕獲を段階的に実施した。なお、平成28年度におけるくくりわなによる捕獲頭数は16頭であった。 ○ 平成28年度も継続して本制度を活用し、イノシシ捕獲の強化を図った。(5,000円/頭) 対象捕獲頭数 417頭(再掲) 報奨金総額 2,085,000円 ○ 狩猟免許(銃・わな)試験講習会助成 15名 猟銃等初心者講習会助成 1名 ○ 平成28年度は地域ぐるみの捕獲対策実施地区が14地区増え、計20地区となった。また、従事者数は計213人、捕獲実績は計103頭となった。 ○ 平成28年度も継続して本制度を活用し、イノシシ捕獲強化を図った。 成獣(8,000円/頭) 幼獣(1,000円/頭) 対象捕獲数 379頭 内 成獣 350頭 幼獣 29頭 交付金総額 2,829,000円(イノシシ分) ○ 関係各課で設置に向けた検討会を実施し、意見の集約を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 箱わなに入らない個体については、くくりわなによる捕獲も有効と評価しており、今後も錯誤捕獲や安全対策に配慮し、実施していく。 ○ 捕獲意欲の向上と維持のため、国や県の補助制度や、報奨金制度を活用し、対応していく。 ○ 被害防止・捕獲従事者確保のためにも、補助制度の広報を積極的に行っていく必要がある。 ○ 猟友会の高齢化により、捕獲従事者が減少傾向にあるため、今後、地域ぐるみの被害防止対策がさらに重要になってくることから、実施地区をさらに増やすためにも、地域農業者等を対象に研修会を実施し、先行事例等を情報提供していくことが必要である。 ○ 捕獲意欲の向上と維持のため、国や県の補助制度や、報奨金制度を活用し、対応していく。 ○ 平成30年度の設置に向け、引き続き活動内容等を精査していく。
<p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体等に対して農作物被害防止施設の設置費用を補助する。 	<p>(2)被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国補助 4団体 49.5km(ワイヤーメッシュ柵) 市補助 25団体(計65か所) 36.7km(電気柵) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成21年度以降のワイヤーメッシュ柵の設置実績は360kmとなっているが、維持管理の徹底が被害防止のためには必要である。
<p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イノシシの生息地となりうる耕作放棄地における管理や利活用方法について情報提供を行うとともに、土地所有者の意向を伺いながら、解消に向けた取り組みを行っていく。 	<p>(3)生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 耕作放棄地の維持管理について、イノシシ侵入防止のためにも、耕作放棄地の草刈りなどを実施するように広報した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、耕作放棄地の草刈りなどがイノシシの侵入防止に有効であることの広報に努め、生息地の適正管理を行う必要がある。

H28計画	H28実績	評価
<p>(4)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 捕獲技術講習会等の実施 効率的なイノシシ捕獲対策や被害防止に関する講習会等を開催する。 ○ 広報 <ul style="list-style-type: none"> ①仙台市農作物有害鳥獣対策協議会の活動をホームページで市民に情報提供し、活動の理解と協力を得る。 ②「農政だより」やパンフレット等により、鳥獣による農作物被害防止に関する情報提供、啓発を行う。 	<p>(4)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イノシシ捕獲に係る捕獲技術講習会を主に地域ぐるみの捕獲対策従事者を対象に外部講師を招いて5回開催 (7/24、10/22、11/20、1/21、1/22) ○ 農政だよりや仙台市農作物有害鳥獣対策協議会ホームページにて、活動内容や被害防止対策について啓発・広報を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も引き続き、情報提供や講習会を行っていく必要がある。 ○ 今後も引き続き、啓発・広報を行っていく必要がある。 ※電気柵の設置状況について、被害報告があった農地に対してどの程度普及しているかというデータは持っていないが、電気柵の設置が進んでいる地域においては被害が少ないため、効果があると考えられる。
<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県等が主催する会議に参加し、被害状況や被害防止対策等の情報交換、広域連携での対応などにより、被害を防止する。 	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県が主催する会議に参加し、情報収集に努め、機会を見つけて被害の出ている地区へ情報提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も引き続き、情報収集し、被害地域への広報等を行い、被害防止につなげていく。

名取市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.50 ha (H27) 2.50 ha</p> <p>(2)金額 3,000 千円 (H27) 3,250 千円</p> <p>(3)作物 野菜(イモ類、トウモロコシ) 水稻、筍</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.40 ha</p> <p>(2)金額 3,000 千円</p> <p>(3)作物 野菜(イモ類、トウモロコシ)、 水稻、筍</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 平成27年度に鳥獣被害防止総合支援事業により導入したワイヤーメッシュ柵により被害減少。 平成28年度に導入したワイヤーメッシュ柵については、設置完了が年度末であったため、効果は平成29年度において確認を行いたい。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 100 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 農作物被害の大きい集落において、鳥獣被害防止指導を実施する。 ○ 捕獲機材の無償貸与を行う予定である。また、農業者等向けに免許取得に関する講習会を受講させ、狩猟者の育成を図る。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 農地周辺の除草作業を推進する。</p> <p>(4)その他 ○ 侵入防止柵延長 13,000m</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 96 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 農地に野菜くず等のイノシシを誘引するものを放置しないよう指導する。 ○ 免許所有者に捕獲用わなの貸し出しを行い、有害鳥獣の捕獲に活用された。また、農業者等向けに免許取得に関する講習会を受講させ、狩猟者の育成を図った。 ○ 被害防止講習会に隊長等を派遣し、鳥獣の発生状況や集落における被害対策について、知識の向上を図った。 ○ 侵入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)を設置した。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 農地周辺の除草作業を推進した。</p> <p>(4)その他 ○ 侵入防止柵延長 13,000m</p>	<p>※年間被害対策経費合計 3,000 千円</p> <p>○ イノシシ捕獲用箱わな、くくりわなを使用した。止めさしに限り銃器を使用した。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p> <p>○ 放射性物質の検査 年2~3回程度実施した。 市直営でも検査した。</p>	

岩沼市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.86 ha (H27) 0.95 ha</p> <p>(2)金額 2,258 千円 (H27) 2,509 千円</p> <p>(3)作物 水稲、野菜、たけのこ、いも類など</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.10 ha</p> <p>(2)金額 4,532 千円</p> <p>(3)作物 野菜、豆類、水稲、たけのこ、いも類など</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 昨年度はイノシシの被害報告が急増した。被害面積や金額についても大幅に増加しており、特に、タケノコ、大豆、イモ類、野菜の被害報告が多数ある。</p> <p>平成28年度は捕獲頭数を上げるべく、従来設置していた箱わなに加え、くくり罠の設置を出没報告に合わせて多用するように努めた。このような取り組みを通して、捕獲頭数は平成27年度の25頭に比べ大幅に増加したが、それでも被害面積及び金額は大幅に増加した結果となった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 40→70 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 捕獲機器の貸し出し、狩猟免許の取得助成、捕獲に応じた捕獲活動経費の補助</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ ノシシ用捕獲資材により、山間部等において通年での捕獲活動を実施する。など山林等にイノシシが食すものが無くなる冬の時期(11月～2月)に重点的に活動を実施する。また銃器による捕獲活動も実施する。</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 77 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 捕獲機器の貸し出し、狩猟免許の取得助成、捕獲に応じた捕獲活動経費の補助</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 冬季に箱わなを1基増設すると共に、くくり罠を機動的に使用し、捕獲頭数の増加に努めた。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 2,091 千円</p> <p>○ イノシシによる被害報告があった農地約2.2haのうち、対策として電気柵を設置したという農地は約1.1haで普及率は約50%だった。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

亘理町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.45 ha (H27) 3.50 ha</p> <p>(2)金額 2,450 千円 (H27) 3,500 千円</p> <p>(3)作物 水稲、大豆、野菜(馬鈴薯、スイートコーン、ほうれん草等)、果樹(りんご)</p> <p>(4)その他 山手だけでなく、住宅密集地での目撃情報もあがっている為、町全域で周知を行っている。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.50 ha</p> <p>(2)金額 3,498 千円</p> <p>(3)作物 水稲、大豆、野菜(馬鈴薯、スイートコーン、ほうれん草等)、果樹(りんご)</p> <p>(4)その他 山手だけでなく、住宅密集地での目撃情報もあがっている為、町全域での周知を行った。</p>	<p>○ 被害面積及び被害金額を目標に近づけることはできなかった。また、昨年の被害状況実績と比較すると、被害面積及び被害金額に差異はほとんどなかった。原因としては、イノシシの出没範囲の広域化、食性の変化などがあげられる。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 0 頭 (個体数調整) 100 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 地元農家の狩猟免許取得者に箱罠を貸し出し、有害鳥獣駆除を実施する。 ○ 町単独事業の捕獲報奨制度を計画・活用しながら、狩猟期間における捕獲を推奨する。 ○ 実績や周辺状況を調査し、罠の適正配置に努める。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 緩衝地帯を設置できる場所を調査し、管理不適切地等(耕作放棄地)を解消しながら、地元農家や該当集落の協力を得て、緩衝地帯をできる限り多く設置する。</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 0 頭 (個体数調整) 72 頭 ○ 目標頭数には届かない数ではあったが、昨年度よりも大幅に捕獲頭数が増加した。</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 地元農家の狩猟免許取得者に箱罠を貸し出し、有害鳥獣駆除を実施した。 ○ 町単独事業の捕獲報奨制度を計画・活用しながら、狩猟期間における捕獲を推奨した。 ○ 実績や周辺状況を調査し、罠の適正配置に努めた。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 緩衝地帯を設置できる場所を調査し、管理不適切地等(耕作放棄地)を解消しながら、地元農家や該当集落の協力を得て、緩衝地帯をできる限り多く設置した。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 3,750 千円</p> <p>○ (電柵補助金789千円・亘理町総合農政企画推進協議会有害鳥獣駆除費2,543千円)</p> <p>○ イノシシ用箱罠、くくり罠を設置</p> <p>○ 平成28年度の電柵設置については町単独補助金を支出しているのは16件、そのうち被害の増加に関する連絡などは来ていない。しかし、個人負担で設置している農地もあるので普及率は正確には把握していない。</p>
3 その他	3 その他	

山元町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.22 ha (H27) 1.53 ha</p> <p>(2)金額 1,540 千円 (H27) 1,927 千円</p> <p>(3)作物 水稻・タケノコ・とうもろこし・ じゃがいも・大豆・さといも・野 菜類</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.97 ha</p> <p>(2)金額 3,539 千円</p> <p>(3)作物 水稻、大豆、かぼちゃ、いちじ く、さといも、さつまいも、じゃ がいも、ブロッコリー、スイート コーン、ほうれんそう</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 息範囲の拡大、生息数の増加により被害面積、金額が増加したものと考えられるが、一方で捕獲数は近年最大のものとなった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲目標</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 0 頭</p> <p>(個体数調整) 100 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 電気柵等の防護策に対し、1/2の補助を実施</p> <p>○ 電気柵等の自己防衛で対応できない場合は、個体数調整、有害捕獲で対応</p> <p>○ 今年度から、鳥獣被害対策実施隊が設置されたことにより、年間を通して被害対策及び個体数調整に対応する。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ イノシシの出没(被害)区域が拡大しつつあるため、生息地拡大を抑止する。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整</p> <p>捕獲実績</p> <p>(有害鳥獣捕獲) 92 頭</p> <p>(個体数調整) 72 頭</p> <p>○ 当初100頭の個体数調整を計画していたが、計画を上回るペースで捕獲があった為、さらに100頭分の有害鳥獣捕獲許可を交付した。結果、個体数調整72頭、有害鳥獣92頭を捕獲した。</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ 電気柵、金網等の防護策に対し1/2の補助を実施。</p> <p>○ 28年度から実施隊を設置。年間を通して個体数調整及び有害鳥獣捕獲に対応。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>○ 町内西側にある東街道周辺が主な生息区域であり、山間部の農作物に被害が多くなっている。また、近年においては、6号線以東の浜通り地区にも出没している。</p>	<p>※年間被害対策経費合計</p> <p>4,143 千円</p> <p>○ 実施隊の設置により、有害鳥獣捕獲及び個体数調整における捕獲実績は、計画を大きく上回った。</p> <p>○ 猟期間における捕獲頭数も226頭と年間での町内合計390頭もの捕獲数を上げた。</p> <p>○ 近年最大の捕獲頭数を挙げたことから、29年度においては捕獲頭数及び被害が減少する可能性がある。</p> <p>○ 被害報告のあった農家への電気柵の普及率に関しては把握していない。</p> <p>○ 電気柵への助成申請者は31名。</p> <p>○ 農作物有害鳥獣対策協議会(決算額から)</p> <p>3,154千円</p> <p>○ 被害防除対策助成金(電気柵)</p> <p>989千円</p>

40

H28計画	H28実績	評価
(4)その他 ○ 住民からの被害情報があれば、できる限り現場確認し、情報収集に努める。	(4)その他	
3 その他	3 その他	

大和町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 5.76 ha (H27) 8.23 ha</p> <p>(2)金額 3,763 千円 (H27) 5,375 千円</p> <p>(3)作物 水稲; 大麦, 大豆, タケノコ, ジャガイモ, サツマイモ, ゆり 等</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 12.72 ha</p> <p>(2)金額 11,583 千円</p> <p>(3)作物 水稲, 麦, 豆, 野菜, イモ類</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 狩猟免許等を取得する方 に対しての補助により捕 獲対策の強化を図ったほ か, 環境対策として町民 への情報提供と農地整備 等の指導, さらに防護柵 (広域ワイヤーメッシュ柵 等)を導入したが, 個体数 の増加と行動範囲の広域 化などで被害は増加し た</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 50 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 未収穫農作物を適正管理す るよう農家へ指導する。 ○ 侵入防止対策等の指導。 ○ ワイヤーメッシュ柵の購入及 び設置。 ○ 狩猟免許取得に係る補助制 度の実施に伴い, 狩猟者の確 保及び捕獲対策の強化</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 農作物収穫残渣の除去や追 い払い花火などの導入によ り, 自衛体制を強化。</p> <p>(4)その他 ○ 防護柵設置 8,100 m</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 96 頭 (個体数調整) 0 頭 ○ くくりわな、囲いわな等の購 入・設置により、効率・効果的 な捕獲が図られた。</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 未収穫農作物を適正管理す るよう農家へ指導。 ○ 侵入防止対策等の指導。 ○ ワイヤーメッシュ柵の購入、設 置(約17.3km) ○ 狩猟免許取得に係る補助制 度の実施に伴い, 狩猟者の確 保及び捕獲対策の強化(平成 28年度新規狩猟免許取得者 2名、更新者8名に補助)</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 農作物収穫残渣の除去や追 い払い花火などの導入によ り, 自衛体制を強化を促した。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 11,182 千円</p> <p>○ 捕獲頭数が前年度実績比 2.2倍となり、個体数が 年々増加していることが わかる。今後も捕獲強化 を図る。</p> <p>○ ワイヤーメッシュ柵を地域 ぐるみで大規模に設置し たことにより、設置地域内 の被害が軽減された。</p>
<p>3 その他 ○ 広報紙等を活用し, 被害対策 や注意喚起等, 町民への情 報発信。</p>	<p>3 その他</p>	

大衡村

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.15 ha (H27) 0.63 ha</p> <p>(2)金額 553 千円 (H27) 242 千円</p> <p>(3)作物 水稲・野菜</p> <p>(4)その他 大衡村西部地区(大瓜上・大瓜下・松原地区)で被害報告がある。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.65 ha</p> <p>(2)金額 241 千円</p> <p>(3)作物 水稲・野菜</p> <p>(4)その他 大衡村西部地区(大瓜上・大瓜下・松原地区)で被害報告があった。</p>	<p>○ 被害面積, 金額共に前年度実績とほぼ同等の数値となった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 10 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 未収穫農作物を適正処理するよう農家へ指導する。 ○ 電気柵設置の補助を行う。 ○ 免許取得者に対する助成を行う。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 休耕地について除草を実施し, 生息域の適正管理を推進していく。</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 23 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 未収穫農作物を適正処理するよう農家へ指導した。 ○ 電気柵設置の助成を行った。 ○ 免許取得者に対する助成を行った。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 休耕地について除草を実施し, 生息域の適正管理を推進した。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 千円</p> <p>○ 電気柵の設置状況について, 村の購入補助事業適用件数のみ把握。</p>
3 その他	3 その他	

大崎市

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.25 ha (H27) 0.46 ha</p> <p>(2)金額 269 千円 (H27) 302 千円</p> <p>(3)作物 水稻</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 3.00 ha</p> <p>(2)金額 2,000 千円</p> <p>(3)作物 水稻, 牧草, 野菜</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 昨年に比べイノシシの出没が多く、被害が大幅に増加した。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 10 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵の貸出を行う。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 被害防止の観点から出没地について、生息域の確認を行う。</p> <p>(4)その他 ○ 広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行う。 ○ 必要に応じ、わなを設置し有害捕獲を行う。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 0 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵の貸出し</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 0 千円</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

色麻町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 8.46 ha (H27) 7.30 ha</p> <p>(2)金額 697.6 千円 (H27) 1,186 千円</p> <p>(3)作物 水稲, 野菜, その他</p> <p>(4)その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 1.18 ha</p> <p>(2)金額 408 千円</p> <p>(3)作物 水稲, 果樹, 飼料作物, いも類</p> <p>(4)その他 人身被害1件</p>	<p>○ 被害が多く発生していた地区が, 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業として県から指定され, 被害防除研修会や侵入防止柵を設置したことから, 被害が軽減した。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 25 頭 (個体数調整) 5 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ チラシ配布による広報活動 ○ 有線放送による注意喚起</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 有線放送による周知</p> <p>(4)その他</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 0 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>○ チラシ配布による広報活動 ○ 有線放送による注意喚起</p> <p>○ 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し, 侵入防止柵の設置を行った。(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。</p> <p>○ 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業として, 県から指定された地区で, 被害防除研修会や侵入防止柵の設置等を行った。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 有線放送による注意喚起 ○ 地域が主体となり, 草刈り等を行った。</p> <p>(4)その他</p>	<p>※年間被害対策経費合計 5,341 千円</p> <p>被害対策経費内訳 色麻町鳥獣被害対策実施隊員報酬 107千円 色麻町有害鳥獣対策協議会 209千円 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金 5,025千円</p> <p>○ 侵入防止柵の設置状況について, 被害報告があった農地では普及していない(0%)。</p> <p>※宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用して, 柵を設置した地区では, 被害が軽減しているが, 予算の関係上, 柵を設置できない地区の農地に被害が発生したため。</p>
3 その他	3 その他	

加美町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.00 ha (H27) 2.29 ha</p> <p>(2)金額 666 千円 (H27) 741 千円</p> <p>(3)作物 水稲、サツマイモ、牧草</p> <p>(4)その他 冬期間に巻き狩りを実施し、捕獲頭数の向上を図る。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 8.13 ha</p> <p>(2)金額 1,146 千円</p> <p>(3)作物 水稲、サツマイモ、牧草</p> <p>(4)その他</p>	<p>○ 冬期間、巻き狩りを実施し45頭の捕獲実績となった。生息数は大幅に増加しているため、今後も加美町鳥獣被害対策実施隊の協力を得ながら有害駆除を実施していく。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 50 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵の設置に対する補助を実施する。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 耕作放棄地での除草を指導する。</p> <p>(4)その他 ○ 町鳥獣被害防止対策協議会活動を周知する。</p>	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 45 頭 (個体数調整) 0 頭</p> <p>(2)被害防除対策 ○ 電気柵等12件の購入助成を行った。</p> <p>(3)生息地の適正管理 ○ 耕作者への適正管理指導を実施した。</p> <p>(4)その他 ○ 広報誌等で電気柵導入助成等について周知を図った。</p>	<p>※年間被害対策経費合計 2,225 千円</p> <p>○ 被害防除に一応の効果がみられるので継続して実施する。</p> <p>○ 高齢者が多く農地の適正管理が困難なため、今後の農地管理について検討する。</p> <p>○ 今後も継続して導入助成を実施する。</p>
<p>3 その他</p>	<p>3 その他</p>	

栗原市

H28計画	H28実績	評価
1 被害軽減目標 (1)面積 0.59 ha (H27) 0.71 ha (2)金額 307 千円 (H27) 70 千円 (3)作物 水稻 (4)その他	1 被害軽減目標 (1)面積 1.92 ha (2)金額 685 千円 (3)作物 水稻、サツマイモ (4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度より被害面積及び額が大幅に増大した。 ○ イノシシの目撃件数が平成27年度まで10件前後で横ばいであったが、平成28年度は99件となり約12倍の増加となった。 ○ 市の有害鳥獣捕獲許可で50頭のイノシシが捕獲されるに至っており、今後さらに頭数の増加が懸念される。
2 被害防止対策 (1)個体数調整 捕獲目標 (有害鳥獣捕獲) 出来る限り多くの捕獲を目標とする (個体数調整) <ul style="list-style-type: none"> ○ 人的被害の恐れ及び農作物被害等が発生した場合など、県の個体捕獲事業などと連携して捕獲を実施する。 (2)被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ 防護柵(電気柵等)設置の補助を行う。 ○ 誘引物となる廃棄野菜等の適正処理を市民へ指導する。 ○ 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図る。 (3)生息地の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ 耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息域の適正管理に努める。 (4)その他	2 被害防止対策 (1)個体数調整 捕獲実績 (有害鳥獣捕獲) 50 頭 (個体数調整) 0 頭 <ul style="list-style-type: none"> ○ 人的被害の恐れ及び農作物被害等が発生した場合など、県の個体捕獲事業などと連携して捕獲を実施した。 (2)被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> ○ 防護柵(電気柵等)設置の補助を行った。 誘引物となる廃棄野菜等の適正処理を市民へ指導した。 ○ 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図った。 (3)生息地の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害耕作地に接する山林側の除草を指導。 (4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ※年間被害対策経費合計 500 千円 被害対策経費内訳 電気柵購入補助 500千円 ○ 防護柵等の設置により被害防除が図られた。 ○ 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所現地確認等を実施した。 ○ 適時対応していただいた。
3 その他	3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ○ イノシシによる被害防止を図るため、宮城県鳥獣被害防止総合支援交付金を活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度より実施予定

平成28年度

ニホンジカ管理事業実績報告書

ニホンジカ

石巻市	1
女川町	2
登米市	3
気仙沼市	4
南三陸町	5

平成29年8月

宮城県環境生活部自然保護課

平成28年度ニホンジカ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

石巻市

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 17.58 ha (H27) 18.50 ha</p> <p>(2) 金額 15,245 千円 (H27) 16,048 千円</p> <p>(3) 作物 稲作等</p> <p>(4) その他 交通事故 50 件</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 22.24 ha</p> <p>(2) 金額 19,247 千円</p> <p>(3) 作物 稲作等</p> <p>(4) その他 交通事故 68 件 おしかパブリックサービス処理件数17件 宮城県東部土木事務所 道路管理班 処理件数51件 ※牡鹿半島外市道の交通事故件数は、事故件数が膨大であるため集計不能。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度と比較し被害面積が増加した。今まで報告されていなかった被害も含めて増加したものと推測される。 ・ 道路で死亡していたニホンジカの処理件数と、事故の連絡を受けた件数の合計。昨年度より事故の件数が減った。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整 捕獲目標(個体数調整) 頭 捕獲目標(有害鳥獣捕獲) 780 頭 猟友会石巻支部及び河北支部に委託(年間を通して)</p> <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の把握について、関係機関と連携した取組みを強化する。 ・ 牡鹿半島以外の内陸部の地域でも被害等が確認されており、全市的な被害状況の把握と防止に努める。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑草などの繁茂を防ぐため公共施設の適正な管理に努めるとともに、農地等の管理についても、所有者に対し働き掛ける。 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整 個体数調整による捕獲数 頭 有害捕獲による捕獲数 730 頭 猟友会石巻支部及び河北支部に委託(年間を通して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の把握について、関係機関と連携した取組みを強化した。 ・ 牡鹿半島以外の内陸部の地域でも被害等が確認されており、全市的な被害状況の把握と防止に努めた。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑草などの繁茂を防ぐため公共施設の適正な管理に努めるとともに、農地等の管理についても、所有者に対し働き掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有害捕獲委託で584頭、網からまり分で125頭、県農産園芸環境課委託事業で21頭で合計730頭を捕獲した。 ・ 有害捕獲及び網からまり分捕獲数が共に増加した。捕獲日数を増やしたことと、各地域で農作物の防除対策が増えたことにより、捕獲数が増加したと考えられる。 ・ 牡鹿半島以外の地域での目撃情報が多く、被害状況の把握が一層難しくなった。 ・ 石巻、河北の両猟友会と連絡を密にして、全市的な被害防除に努めた。 ・ 自助努力等により被害防止に努め、被害の軽減を図った。
3 その他	3 その他	

平成28年度ニホンジカ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

女川町

H28計画		H28実績		評 価
1 被害軽減目標		1 被害軽減目標		
(1) 面積	0.31 ha	(1) 面積	0.00 ha	<ul style="list-style-type: none"> ニホンジカによる食害については、住民から被害報告はされていない。しかし、目撃情報が多数報告されているため、個体数が減少したとは、考えにくい。 交通事故については、路肩で死亡したシカの処理件数。
(H27)	0 ha	(2) 金額	0 千円	
(2) 金額	434 千円	(3) 作物	樹木・野菜等	
(H27)	0 千円	(4) その他	交通事故	
(3) 作物			1 件	
稲作等				
(4) その他				
交通事故	8 件			
2 被害防止対策		2 被害防止対策		
(1) 個体数調整		(1) 個体数調整		<ul style="list-style-type: none"> 左記とは別に、アルソックにより3頭、宮城北部森林管理署事業により3頭捕獲。
捕獲目標(個体数調整)	頭	個体数調整による捕獲数	頭	
捕獲目標(有害鳥獣捕獲)	200 頭	有害捕獲による捕獲数	202 頭	
・ 猟友会石巻支部に有害捕獲を委託(春1回)		・ 猟友会石巻支部に有害捕獲を委託により177頭		
・ 猟友会石巻支部等のわな免許保持者に委託		・ 猟友会石巻支部等のわな免許保持者による捕獲19頭(網絡まり分)		
(2) 被害防除対策		(2) 被害防除対策		
・ 現状の把握について、関係機関と連携した取組を強化する。		・ 現状の把握について、関係機関と連携した取組を強化した。		
・ 牡鹿半島以外の地域でも被害等が確認されており、全町的な被害状況の把握と防止に努める。		・ 牡鹿半島以外の地域でも被害等が確認されており、全町的な被害状況の把握と防止に努めた。		
(3) 生息地の適正管理		(3) 生息地の適正管理		
・ 雑草等の繁茂を防ぐために公共施設の適正な管理に努めるとともに、農地等の管理についても、所有者に対し働きかける。		・ 雑草等の繁茂を防ぐために公共施設の適正な管理に努めた。また、住宅周辺の管理についても、所有者に対し働きかけた。		
3 その他		3 その他		

平成28年度ニホンジカ保護管理事業の実績と評価（市町村分）

登米市

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.10 ha (H27) 0 ha</p> <p>(2) 金額 100 千円 (H27) 200 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 野菜, 果樹等</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.41 ha</p> <p>(2) 金額 210 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 野菜, 果樹等</p> <p>(4) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭菜園での被害も多く、農作物被害額として数値化するのには困難である。 山間部を問わず市内全域で目撃情報も多く寄せられており、生息域が確実に拡大しており、生息数の増加に伴う農作物被害の増加が心配される。
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <p>捕獲目標(個体数調整) 頭 捕獲目標(有害鳥獣捕獲) 0 頭</p> <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 生息地域の把握と被害の現状について、関係機関と連携した取組を強化する。 農地への侵入等の被害が確認された場合は、被害農家に対し、侵入の妨げとなる侵入防止柵等の設置を指導するとともに、定期的な農地の巡回を提案する。 被害が防ぎきれない場合は有害捕獲の実施も検討する。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 生息区域の把握 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <p>個体数調整による捕獲数 頭 有害捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業共済からの被害状況及び各総合支所からの目撃情報を収集した。 被害農家に対し、圃場等への侵入防止対策を講じるように指導。防護柵等設置に対する補助金制度を新設した。 くくり罠27台を購入し捕獲活動を実施した。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内関係機関への聞き取り調査を実施し、新たな生息区域の把握を行った。H28年度においては、豊里地区で農作物被害を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 目撃情報により5頭の捕獲を実施したが、結果は0頭であった。被害地域から移動したものと思われる。 農地の適正管理や農作物の適正処理はされているものの、農地への侵入(踏荒らし)による被害が多く、対応に苦慮している。 生産者の自助努力により、市が実施する補助事業を活用するなどして、侵入防止ネット設置等の対策が講じられた圃場等が見られるようになった。 H28年度実績:電気柵1件 捕獲活動状況 捕獲許可頭数:5頭 捕獲頭数:0 ※被害地域から移動したものと思われる。 当管内では平野部の里山にも生息しており、里山周辺の農地で目撃情報が多く寄せられている。農地に人間の姿が無ければ警戒することなく侵入している。
3 その他	3 その他	

平成28年度ニホンジカ保護管理事業の実績と評価 (市町村分)

気仙沼市

H28計画	H28実績	評価
1 被害軽減目標 (1) 面積 16.20 ha (H27) 10.96 ha (2) 金額 10,952 千円 (H27) 8,877 千円 (3) 作物 水稻, 野菜, 果樹 (4) その他 交通事故 0 件	1 被害軽減目標 (1) 面積 11.24 ha (2) 金額 4,698 千円 (3) 作物 果樹 (4) その他 交通事故 3 件	<ul style="list-style-type: none"> 被害面積及び被害金額ともに減少となった。特に果樹が大きく減少した。これは、気仙沼市鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動と電気柵設置による侵入防止施策が功を奏していると推測される。
2 被害防止対策 (1) 個体数調整 捕獲目標(個体数調整) 0 頭 捕獲目標(有害鳥獣捕獲) 600 頭 <ul style="list-style-type: none"> 年々頭数が増えており、食料を求めて人里に降りて農作物を食害している。適正な頭数に調整するため、銃器及びわなによる捕獲を行う。 (2) 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> 農地周辺に防護ネットや電気柵を設置した際にみやぎ環境交付金を活用し補助金を交付する。 (3) 生息地の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の除草 緩衝帯の設置 	2 被害防止対策 (1) 個体数調整 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害捕獲による捕獲数 582 頭 くくりわなによる捕獲を実施した。止め刺しのみ銃器を使用した。 (2) 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> みやぎ環境交付金を活用した防護ネット設置費の助成を行った。 (3) 生息地の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> 緩衝帯の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 目標としていた捕獲頭数には及ばなかったが、被害状況は2年連続で減少となったので、効果が表れていると考えられる。
3 その他	3 その他	

平成28年度ニホンジカ保護管理事業の実績と評価 (市町村分)

南三陸町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 10.00 ha (H27) 9.58 ha</p> <p>(2) 金額 400 千円 (H27) 385 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 野菜, 花卉, 果樹</p> <p>(4) その他 件</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 4.13 ha</p> <p>(2) 金額 459 千円</p> <p>(3) 作物 水稻, 野菜, 花卉, 果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>ニホンジカの駆除活動や電気柵等の防護柵の設置を行ったが、被害軽減目標には届かなかった。</p>
<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整 捕獲目標(個体数調整) 頭 捕獲目標(有害鳥獣捕獲) 40 頭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 猟友会本吉南部支部と連携し、有害鳥獣駆除隊が捕獲活動を実施する。 ・ 鳥獣対策実施隊の設立を検討する。 <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農作物被害が重大な地域には、電柵の設置により、被害防除を図る。 ・ 鳥獣被害防止に関する知識の普及活動を行う。(チラシの作成・配布、研修会等) <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家や周辺住民と協力し、農地の適正な管理を図るとともに、鳥獣が出没しにくい緩衝帯の整備を促進する。 	<p>2 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害捕獲による捕獲数 0 頭 平成28年度からくくりわなによる捕獲を実施した。</p> <p>(2) 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農作物被害が甚大なほ場については電気柵を設置し、被害防除を図った。宮城県が主催する防除研修会に参加し、防除技術の向上に努めた。 <p>(3) 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌を活用し、鳥獣を誘引しないよう農地の適正な管理について周知を行った。 	<p>(1) これまでわな免許取得者がいなかったが、新規で5名が取得し、従来のまき狩りに加え、くくりわなによる駆除を実施した。 また、平成28年度においては、NTTドコモの協力を得て町内で実証試験を行い、5頭捕獲した。平成29年4月に南三陸町鳥獣被害対策実施隊が設置されたこともあり、捕獲圧の強化に努める。</p> <p>(2) 電気柵を設置したほ場については、一定の効果がみられた。 また、防除研修会等の参加を町民に広く呼びかけ防除技術の向上に努めた。</p> <p>(3) 広報誌等を活用し、有害鳥獣を誘引しないよう適切な農地管理の周知を行った。 緩衝帯の整備についてはあまり進まなかった。</p>
3 その他	3 その他	

平成28年度

ツキノワグマ管理事業実績報告書(市町村分)

ツキノワグマ

白石市	1
蔵王町	2
七ヶ宿町	3
川崎町	4
仙台市	5
大和町	7
大衡村	8
大崎市	9
色麻町	10
加美町	11
栗原市	12

平成29年8月

宮城県環境生活部自然保護課

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

白石市

H28計画	H28実績	評 価
1 被害軽減目標 (1) 面積 1.62 ha (H27実績) 1.80 ha (2) 金額 712 千円 (H27実績) 791 千円 (3) 作物 飼料作物等 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 4.50 ha (2) 金額 2,027 千円 (3) 作物 青刈リトウモロコシ、牧草 (4) その他	被害面積、被害金額ともに増加した。昨年は山中の柿等が不作であったため、クマの目撃報告自体が多く、農地に現れる熊も多かったのではないかと思われる。
2 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> 電気柵・防護柵の設置に対する補助を継続して行う。 未収穫の作物を適正処理するよう農家へ指導を行う。 目撃情報を地域に周知し注意・啓発を図る。 有害個体の捕獲及び放獣。 	2 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> 電気柵・防護柵の設置に対する補助を継続して行った。 回覧等で未収穫の作物を適正処理するよう農家へ指導を行った。 看板やチラシで目撃情報を地域に周知し注意・啓発を図った。 4頭の捕獲を行った。 捕獲実績 4 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 0 頭 人的被害防止目的 4 頭 	電気柵の設置状況については、農家が季節によって設置場所を移動している場合等も多く、正確な状況の把握は出来ない。 飼料用トウモロコシの畑については、電気柵は概ね普及し、効果がある状況だが、電気柵の下に穴を掘って侵入するクマなどもいるため、そのようなクマについては有害捕獲等での対処をしていきたい。 畜舎の配合飼料等を狙う個体も多く、畜産農家への対策指導等を引き続き行っていきたい。
3 生息環境管理 <ul style="list-style-type: none"> 青刈リトウモロコシの被害削減のため畑周辺の除草作業をする。 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。 	3 生息環境管理 <ul style="list-style-type: none"> 青刈リトウモロコシの被害削減のため畑周辺の除草作業を推進した。 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進した。 	
4 その他	4 その他	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

蔵王町

H28計画	H28実績	評価
1 被害軽減目標 (1) 面積 4.50 ha (H27実績) 1.61 ha (2) 金額 2,068 千円 (H27実績) 687 千円 (3) 作物 デントコーン (4) その他 人的被害ゼロ	1 被害状況 (1) 面積 7.70 ha (2) 金額 3165 千円 (3) 作物 果樹、飼料作物、野菜 (4) その他 人的被害ゼロ	近年、有害鳥獣の個体数が急増しているが、ツキノワグマにおいても目撃情報及び被害報告が例年になく多く寄せられたため、個体数が増加傾向にあるものと考えられる。それに加え、山の実りが悪かったこともあり、飼料作物への食害が大幅に増加した。結果、被害面積は目標値の約1.7倍、被害金額は目標値の約1.5倍と目標値を上回る結果となった。
2 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。 人身被害の未然防止のため、又は被害対策防除措置を講じて農林業非該当防ぎきれない場合に捕獲を実施する。 有害鳥獣駆逐用花火による被害防除を実施。 	2 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助が農家に広く浸透し、設置や補助に対する問い合わせが以前より増加した。 目撃や被害報告があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜をなくすことを指導した。 目撃や被害報告があった場所では有害鳥獣駆逐用花火による被害防除を実施し、目撃や被害報告があった農家へは有害鳥獣駆逐用花火による被害防除を指導した。 捕獲実績 33 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 19 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 14 頭 人的被害防止目的 19 頭	電気柵の設置状況について、農作物被害の報告があった農地の30%～40%程度が設置できているものと推察しているが完全に把握できていない。飼料作物畑周囲への設置状況は高く、効果はあるとの報告を受けている。侵入防止対策の強化等を指導しているが、電気柵下部を掘り起こして柵の内部へ侵入するケースも報告されているため、新たな改善策の検討が必要。
3 生息環境管理 <ul style="list-style-type: none"> 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。 	3 生息環境管理 目撃や被害報告があった農家や住民へ耕作地又は宅地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地又は宅地へ出没し難い環境づくりに努めた。	山の実りが悪かったこともあり、人気の少ない山林付近の農地への出没を防ぐことは難しい状況ではあったが、宅地への出没を減少させる効果はあった。
4 その他	4 その他	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

H28計画	H28実績	評 価
1 被害軽減目標 (1) 面積 0.10 ha (H27実績) - ha (2) 金額 350 千円 (H27実績) - 千円 (3) 作物 果樹及びスイートコーン (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.00 ha (2) 金額 0 千円 (3) 作物 (4) その他	被害無し。
2 被害防除対策 ・電気柵の設置の推奨 ・電気柵講習会の開催	2 被害防除対策 ・電気柵の設置を推進し、実績では被害無しとなった。 ・有害鳥獣の電気柵講習会と併せ、周知を図った。 捕獲実績 3 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 0 頭 人的被害防止目的 3 頭	・ツキノワグマの出没はあったものの、電気柵等による防除により、被害無しとなった。
3 生息環境管理 ・放棄、取り残し農作物の除去の指導 ・農地周辺の除草作業の実施 ・耕作放棄地の軽減	3 生息環境管理 ・指導は行ってきたが、未収穫野菜等の放置があった。 ・耕作放棄地は例年と変わらない状況だったが、農地周辺及び山林側の除草作業は実施できた。	・農作物の除去及び農作放棄地軽減の周知を徹底する。
4 その他	4 その他	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

H28計画	H28実績	評 価
1 被害軽減目標 (1) 面積 0.20 ha (H27実績) 0.05 ha (2) 金額 176 千円 (H27実績) 522 千円 (3) 作物 スイートコーン・デントコーン・ 飼料作物 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 2.20 ha (2) 金額 855 千円 (3) 作物 飼料作物・果樹 (4) その他	捕獲頭数に関しては過去7年間で最高 数となった。他県のクマ被害が連日報道 で流れた影響もあり、警察や役場のへの 通報が多かった。被害に関しては飼料用 のデントコーンが主に被害を受けた。農 作物以外ではニジマスの養魚場での被 害が多くあり養魚を多数捕食されるなど 被害にあった。今後被害対策の強化を 図ると共に、人的被害が発生しないよう 注意喚起や迅速な対応を行っていく。
2 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> 電気柵の設置に対する補助を実施 目撃情報を広報やメール を使用し周知を図る。 追払い花火を提供する。 	2 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> 電気柵の補助の実施 広報での注意喚起の実施 花火の提供の実施 捕獲実績 13 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 3 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 3 頭 人的被害防止目的 10 頭	電気柵の補助等行ってきたが、間違った 設置などしている方が多く見られた。今 後更なる電気柵の普及を推進すると伴 に、適切な使用方法の指導も徹底してい く。
3 生息環境管理	3 生息環境管理	
4 その他	4 その他	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市

H28計画		H28実績		評 価
1 被害軽減目標 (1) 面積 0.25 ha (H27実績) 0.00 ha (2) 金額 366 千円 (H27実績) 1 千円 (3) 作物 とうもろこし、栗、梨、水稲 (4) その他		1 被害状況 (1) 面積 1.13 ha (2) 金額 1,051 千円 (3) 作物 水稲、栗、柿、りんご、すいか、とうもろこし等 (4) その他 人身被害 5件		・面積、金額ともに被害実績が目標を上回った。 H27年度と比べても、大幅に被害増加。 (H27年度被害実績 面積:0.00ha, 金額:1千円) H28年度は山の堅果類が不作であったこと、クマの頭数の増加といった理由により、エサを求めて人里に出没するクマが増えたのではないかと考えられる。
2 被害防除対策 (1) 出没情報が寄せられた際には現場調査を行い、被害状況調査結果に基づき、誘引要因物の除去、防護柵の設置等対策に関する助言・指導を通して、被害の低減及び未然防止に努める。 (2) 「仙台市メール配信サービス」により、引き続き出没情報を迅速に発信し、注意喚起と情報提供に努めるとともに、地図情報としての提供方法検討する。 (3) 出没場所や時間帯により、広報車での巡回に加え、具体的な注意事項を掲載したチラシの配布や注意看板への出没日時の掲出等、注意喚起の強化に努めるとともに、地域関係者を対象に、具体的な対処方法を普及・啓発する場を提供する。		2 被害防除対策 ・出没情報が寄せられた際には現場調査を行い、被害状況調査結果に基づき、誘引要因物の除去、防護柵の設置等対策に関する助言・指導を通して、被害の低減及び未然防止に努めた。 ・「仙台市メール配信サービス」により、引き続き出没情報を迅速に発信し、注意喚起と情報提供に努めた。 (登録制サービス 104通発信) また、クマの出没情報の提供方法として、H29年度より市民向けの地理情報システム(市民GIS)の運用が決定した。 ・出没場所や時間帯により、広報車での巡回に加え、具体的な注意事項を掲載したチラシの配布等、注意喚起の強化に努めた。 捕獲実績 15 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 2 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 4 頭 人的被害防止目的 11 頭		・電気柵設置助成新規設置2,100m、受益面積102,000㎡(サル・クマ兼用) ※電気柵について、被害報告があった農地に対してどの程度電気柵が設置されていたかというデータは持っていない。
3 生息環境管理 (1) ツキノワグマを農地や集落に呼び寄せないために、引き続きモデル事業の実施を通して、柿や栗などの果樹の早期収穫や幹へのトタン巻の普及・啓発を図る。 (2) ツキノワグマの生態や被害防止対策等について、必要に応じ、パネル展示や啓発用パンフレットの配布を行う。		3 生息環境管理 ・地域のイベント会場などで、クマの生息状況や自主防除の必要性及び具体的な対策について説明し、被害を呼び寄せない環境について啓発活動を行った。 ・地域のイベント会場でツキノワグマの生態や被害防止について、パネル展示を行った。 ・ツキノワグマに関する市民向けの啓発パンフレットを配布した。		

H28計画	H28実績	評 価
4 その他 緊急捕獲を要する状況において速やかな対応ができるよう、関係機関と事前に協議の場を持つ。	4 その他 ・緊急捕獲を要する状況において速やかな対応ができるよう、緊急捕獲権限の移譲の必要性について検討を行った。	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

大和町

H28計画	H28実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.11 ha (H27実績) 0.07 ha</p> <p>(2) 金額 265 千円 (H27実績) 118.2 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、大麦、大豆、タケノコ、ジャガイモ、サツマイモ、とうもろこし、プラム、リンゴ、栗等</p> <p>(4) その他 ・電気柵設置総延長 変更なし（既設 3,800m） ・人身被害ゼロ</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.02 ha</p> <p>(2) 金額 33 千円</p> <p>(3) 作物 果樹、野菜、いも類</p> <p>(4) その他 ・人身被害ゼロ</p>	<p>山にエサが少なかったためか、目撃情報は多かったものの、町で把握した被害は昨年と同程度であった。防除対策が徐々に進んでいるものと思われる。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵の貸し出しを実施。 ・未収穫農作物を適正管理するよう農家へ指導。 ・エサとなる作物の栽培計画の見直しを行う。 ・目撃情報を防災無線により周知する。 ・有害鳥獣捕獲については、人身被害防止のため、又は被害防除対策を講じてもなお、農林業被害等が防ぎきれない場合に実施する。 	<p>2 被害防除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵の貸し出しを実施。 ・未収穫農作物を適正管理するよう農家へ指導。 ・エサとなる作物の管理について指導。 ・防災無線により注意喚起を実施。 ・有害捕獲11頭。 ・錯誤捕獲により1頭緊急捕獲。 <p>捕獲実績 11 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 1 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 10 頭 人的被害防止目的 1 頭</p>	<p>対策が被害の軽減に繋がった。電気柵設置により、設置農地については被害がなかった。</p>
<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物収穫残渣の除去や追い払い花火などの導入により、自衛体制を強化する。 	<p>3 生息環境管理</p> <p>農作物収穫残渣の除去や追い払い花火などの導入により、自衛体制を強化を促した。</p>	<p>被害軽減に繋がった。</p>
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

大衡村

H28計画	H28実績	評価
1 被害軽減目標 (1) 面積 0.00 ha (H27実績) 0.00 ha (2) 金額 0 千円 (H27実績) 0 千円 (3) 作物 水稲, 野菜, 果樹 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.00 ha (2) 金額 0 千円 (3) 作物 水稲, 野菜, 果樹 (4) その他	
2 被害防除対策 ・目撃情報が報告された際には村の防災行政無線等で、注意喚起情報を周知徹底する。	2 被害防除対策 ・目撃情報が報告された際には村の防災行政無線等で、注意喚起情報を周知徹底した。 捕獲実績 0 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 0 頭 人的被害防止目的 0 頭	
3 生息環境管理 ・耕作地周辺及び休耕地について刈り払いを実施する予定。 ・廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。	3 生息環境管理 ・廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底した。	
4 その他	4 その他	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

大崎市

H28計画	H28実績	評 価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 1.10 ha (H27実績) 0.11 ha</p> <p>(2) 金額 793 千円 (H27実績) 443 千円</p> <p>(3) 作物 デントコーン、スイートコーン他</p> <p>(4) その他 ・ 電気柵の貸出しを行う。</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 1.30 ha</p> <p>(2) 金額 1,500 千円</p> <p>(3) 作物 飼料作物、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>昨年に比べクマの出没が多く、被害が大幅に増加した。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>・ 電気柵の貸出しを行う。</p> <p>・ 目撃情報のホームページや広報による周知。</p> <p>・ 耕作地付近における除草作業を推進し死角の減少を図る。</p> <p>・ 被害拡大防止のため目撃地付近へ看板等により注意・啓発を図る。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>・ 電気柵の貸出し</p> <p>捕獲実績 17 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 1 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 15 頭 人的被害防止目的 2 頭</p>	
<p>3 生息環境管理</p> <p>・ 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p> <p>・ 水稻被害抑制のため休耕地の除草作業の推進する。</p>	<p>3 生息環境管理</p>	
<p>4 その他</p>	<p>4 その他</p>	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

色麻町

H28計画	H28実績	評 価
1 被害軽減目標 (1) 面積 0.81 ha (H27実績) 0.9 ha (2) 金額 729 千円 (H27実績) 131 千円 (3) 作物 野菜, 飼料作物 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 2.61 ha (2) 金額 2,294 千円 (3) 作物 果樹, 飼料作物 (4) その他	ツキノワグマによる果樹や飼料作物の被害が大幅に増加したため。
2 被害防除対策 ・チラシ配布による注意喚起 ・有線放送による注意喚起	2 被害防除対策 ・チラシ配布による注意喚起 ・有線放送による注意喚起 ・宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し、侵入防止策の設置等を行った(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。 捕獲実績 4 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 0 頭 人的被害防止目的 4 頭	侵入防止策の設置状況について、被害報告があった農地では普及していない(0%)。 ※柵の設置効果等があり、隣接する農地(柵を設置していない農地)に被害が集中したため。
3 生息環境管理 ・有線放送による注意喚起	3 生息環境管理 ・有線放送による注意喚起 ・地域が主体となり、定期的に草刈り等を行った。	
4 その他	4 その他	

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

H28計画	H28実績	評 価
1 被害軽減目標 (1) 面積 2.70 ha (H27実績) 1 ha (2) 金額 430 千円 (H27実績) 246 千円 (3) 作物 デントコーン、果実、野菜等 (4) その他 イ 果実、野菜等の未収穫放置の防止 ロ 電気柵設置補助の実施 ハ 人身被害ゼロ	1 被害状況 (1) 面積 4.21 ha (2) 金額 427 千円 (3) 作物 水稻、デントコーン、果実、野菜等 (4) その他 ドングリ等が不作(皆無)だったため被害が増加した。	住宅地近くでの目撃情報が前年より大幅に増加した。今後も継続して未収穫農作物の早期収穫や電気柵設置等被害防除対策が必要と考える。
2 被害防除対策 (1) 電気柵の設置に対する補助を実施する。 (2) 目撃情報を地域に周知し注意・啓発を図る。	2 被害防除対策 対策内容 被害防除機材(電気柵等12件)の導入助成を行った。 町のHPに目撃情報を掲載し周知を行った。 捕獲実績 9 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 2 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 6 頭 人的被害防止目的 3 頭	
3 生息環境管理 (1) 耕作放棄地での除草作業を推進する。 (2) 果実、野菜等の未収穫放置を防止する。	3 生息環境管理 耕作地の適正管理について広報誌に掲載した。 未収穫放置防止について広報誌に掲載した。	電気柵等自己防除を行うことにより被害軽減が図れるため継続して実施する。 目撃情報を周知することにより事故等を未然に防ぐことができるため継続して実施する。
4 その他 (1) 入山時の被害防止について周知する。 (2) 町鳥獣被害対策協議会活動の周知をする。	4 その他 広報誌に記事を掲載し周知を図った。	高齢者が多く、農地の適正管理が困難な事例も見受けられる。今後、農地の適正管理についても検討していく。 人身事故は発生していないため、一定の効果がみられるため今後も情報提供に努める。

平成28年度ツキノワグマ管理事業の実績と評価（市町村分）

2

栗原市

H28計画	H28実績	評 価
1 被害軽減目標 (1) 面積 1.27 ha (H27実績) 0.11 ha (2) 金額 933 千円 (H27実績) 377.千円 (3) 作物 水稲、デントコーン、果樹 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.97 ha (2) 金額 933 千円 (3) 作物 水稲、デントコーン、果樹 (4) その他	平成27年度より目撃数が5倍に増加し、被害額が増大している。 主な被害としては、デントコーンの食害による被害が目立った。昨年度は、ブナの実が皆無であったことから、秋以降も栗や柿の食害被害が発生した。
2 被害防除対策 <ul style="list-style-type: none"> 防護柵(電気柵等)設置の補助を行う 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、人身被害又は農林業被害の未然防止のため注意・啓発を図る。 人身被害の未然防止又は被害防除対策を講じても、農林業被害等を防ぎきれない場合は有害個体の捕獲を実施する。 	2 被害防除対策 対策内容 防護柵(電気柵等)設置の補助を行った 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、人身被害又は農林業被害の未然防止のため注意・啓発を図った。 人身被害の未然防止又は被害防除対策を講じても、農林業被害等を防ぎきれない場合は有害個体の捕獲を実施した。 捕獲実績 10 頭 ※上記のうち錯誤捕獲 0 頭 (内訳) 農林水産業被害防止目的 9 頭 人的被害防止目的 1 頭	<ul style="list-style-type: none"> 防護柵等の設置により被害防除が図られた。 情報を関係機関等共有し、また、市民に周知し、注意・啓発を図り、目撃及び被害箇所の現地確認等を実施した 人畜被害拡大防止のため有害捕獲を実施した。
3 生息環境管理 <ul style="list-style-type: none"> 耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息域の適正管理に努める。 誘引物となる果樹等の適正処理を市民へ指導する。 	3 生息環境管理 耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息域の適正管理に努めた。 誘引物となる果樹等の適正処理を市民へ指導した。	適時対応していただいた。
4 その他	4 その他	